



夏休みが終わり、1学期の後半がスタートしました。みなさん、休み中はリフレッシュして過ごすことができましたか? 図書室からは夏休み中に、家族で同じ本を読む「家読」と「読書カレンダー」の宿題を出していました。特に「家読」は、挑戦したい人はやってみよう!としていますが、とてもたくさんの方がチャレンジしてくれました。

みんなの夏休み家読カード



ねんせい
2年生

『カボちゃんのはっぴょうかい』
作：高山栄子

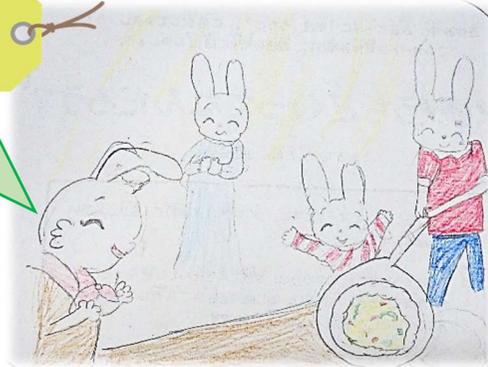
★本を読んだ感想

『はっぴょう会までに、にがてなピアノをくじけないでたくさんれんしゅうしたから、きっと上手にえんそうできたと思います。』

ねんせい
4年生

『野うさぎレストランへようこそ』
作：土田義晴

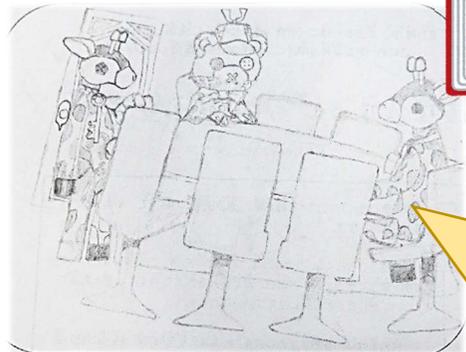
『本にいたるはずの、野うさぎファミリーがげん実に出てきて、野うさぎパティシエを助けてくれたのが不思議でした。わたしも野うさぎパティシエに会って、お日さまパイを食べたいです。』



ねんせい
6年生

『奇譚ルーム』作：はやみねかおる

『ぼくが招待されたSNS仮想空間で、突然現れた(殺人鬼)に「これから君たちを一人ずつ殺していくのだよ。」といわれ、生きるために話す奇譚が、一つ一つ作り込まれていてリアルだなと思ったし、最後の波乱の展開に心臓がバクバクしました。』



★どの家読カードも、すてきなイラストや感想が描かれていました。
1学期中は、図書室の廊下に、各クラス一人ずつ家読カードの紹介をしています。ぜひ見に来てください!



『十年屋』①～④

作：廣嶋玲子

ポプラ社

★大切なものを思い出と一緒に魔法で預かる「十年屋」を訪れるのは…



『わらいのひみつ』

作：おおのこうへい

ポプラ社

★「泣きわらい」、「思い出しわらい」…「わらい」にかくされたひみつって?

『あきらがあげてあげるから』

作：ヨシタケシンスケ

PHP研究所

『コミック版日本の歴史 渋沢栄一』

監修：加来耕三

ポプラ社

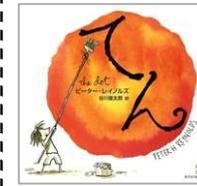


『ちがい』ってなんだ?』

監修：井筒節

がっけん
学研プラス

★障害をもつ人の、身近にある困りごとがよく分かる1冊です。



『てん』

作：ピーター・レイノルズ

あすなろ書房

★絵の描けないワシテが、おえかきの時間にちっほけな「てん」を描くと…

『感染症を正しく学べる! はたらく細胞』

監修：はたらく細胞制作委員会

講談社

『徳間アニメ絵本 アーヤと魔女』

原作：ダイアナ・ウィン・ジョーンズ

徳間書店

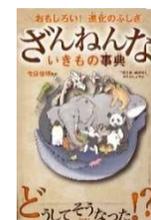
ようなん
陽南ライブラリーニュースコーナー

こんげつ
今月は、
みどり
緑が丘小
緑が丘小学校です!

このコーナーでは、陽南地域学校園の小中学校の学校図書館での様子や、人気の本、司書の先生がおすすめする本などを紹介します。

みどり
緑が丘小
貸し出しランキング1位

みどり
緑が丘小司書
わかばやしせんせい
若林先生のおすすめ



『ざんねんないきもの事典』

(監修) 今泉忠明

たかはししよてん
高橋書店

☆思わず人に話したくなる、生きものの「ざんねん」な話が人気のシリーズです。



『あつまったらぬげばいい』

(作) ヨシタケシンスケ

はくせんしよ
白泉社

☆読んでほっこりする、おとなにも子どもにもおすすめの1冊です。